

消毒薬の種類と用途

薬品名	塩素系消毒液(次亜塩素酸ナトリウム、亜塩素酸水等)		第4級アンモニウム塩 (塩化ベンザルコニウム等) 逆性石けん又は陽イオン界面活性性ともいう	アルコール類 (消毒用エタノール等)
	次亜塩素酸ナトリウム	亜塩素酸水		
消毒をする場所・もの	- 調理及び食事に関する用具(調理器具、歯ブラシ、哺乳瓶等) - 室内環境(トイレの便座、ドアノブ等) - 衣類、シーツ類、遊具等 - 嘔吐物や排泄物が付着した箇所	- 調理及び食事に関する用具(調理器具、歯ブラシ、哺乳瓶等) - 室内環境(トイレの便座、ドアノブ等) - 衣類、シーツ類、遊具等 - 嘔吐物や排泄物が付着した箇所	- 手指 - 室内環境、家具等(浴槽、沐浴槽、トイレのドアノブ等) - 用具類(足浴バケツ等)	- 手指 - 遊具 - 室内環境、家具等(便座、トイレのドアノブ等)
消毒の濃度	0.02% (200ppm)液での拭き取りや浸け置き - 嘔吐物や排泄物が付着した箇所：0.1%(1,000ppm)液での拭き取りや浸け置き	- 遊離塩素濃度25ppm(含量亜塩素酸として0.05%≒500ppm以上)液での拭き取りや浸け置き - 嘔吐物や排泄物が付着した箇所：遊離塩素濃度100ppm(含量亜塩素酸として0.2%≒2000ppm以上)液での拭き取りや浸け置き	0.1% (1,000ppm)液での拭き取り - 食器の漬け置き：0.02% (200ppm)液	原液(製品濃度70～80%の場合)
留意点	- 酸性物質(トイレ用洗剤等)と混合すると有害な塩素ガスが発生するので注意する。 - 吸引、目や皮膚に付着すると有害であり噴霧は行わない。 - 金属腐食性が強く、錆びが発生しやすいので、金属には使えない。 - 嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。 - 脱色(漂白)作用がある。	- 酸性物質(トイレ用洗剤等)と混合すると有害な塩素ガスが発生するので注意する。 - 吸引、目や皮膚に付着すると有害であり噴霧は行わない。 - ステンレス以外の金属に対して腐食性があるので注意する。 - 嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。 - 衣類の脱色、変色に注意。	- 経口毒性が高いため誤飲に注意する。 - 一般の石けんと同時に使うと効果がなくなる。	- 刺激性があるので、傷や手荒れがある手指には用いない。 - 引火性に注意する。 - ゴム製品、合成樹脂等は、変質するので長時間浸さない。 - 手洗い後、アルコールを含ませた脱脂綿やウェットティッシュで拭き自然乾燥させる。
新型コロナウイルスに対する有効性	○(ただし、手指には使用不可)	○(ただし、手指への使用上の効果は確認されていない)	○(ただし、手指への使用上の効果は確認されていない)	○
ノロウイルスに対する有効性	○	○	×	×
消毒液が効きにくい病原体			結核菌、大部分のウイルス	ノロウイルス、ロタウイルス等
その他	・直接日光の当たらない涼しいところに保管する。	・直接日光の当たらない涼しいところに保管する。	・希釈液は毎日作りかえる。	

(表1)次亜塩素酸ナトリウム(製品濃度が約6%の場合)及び亜塩素酸水(製品濃度が約0.4%の場合)の希釈方法

	消毒対象	調整する濃度 (希釈倍率)	希釈法
ナ次亜塩素酸	・嘔吐物や排泄物が付着した床・物 ※衣類等に嘔吐物や排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	0.1% (1000ppm)	水1Lに対して約20mL (めやすとしては、500mlペットボトルにキャップ2杯弱)
	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.02% (200ppm)	水1Lに対して約4mL (めやすとしては、500mlペットボトルにキャップ0.5杯弱)
	・嘔吐物や排泄物が付着した床・物 ※衣類等に嘔吐物や排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	遊離塩素濃 100ppm 含量亜塩素酸として 0.2%(2000ppm)	水1Lに対して約1L (2倍希釈)
亜塩素酸水	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	遊離塩素濃 25ppm 含量亜塩素酸として 0.05%(500ppm)	水1Lに対して約143mL (8倍希釈)

○ 熱湯での希釈は行わない。

○ 塩素系消毒薬の希釈液は、時間が経つにつれ有効濃度が減少することに留意する。

○ 製品によっては、冷暗所に保管するよう指示があるものがあり、指示に従い適切に保管することが必要となる。